The background features a light blue sky and a light green ground. At the top and bottom, there are stylized illustrations of houses with red and green roofs, a brown dog, and several flower boxes containing purple and yellow flowers. The text is centered in the middle of the image.

障がい者グループホームは

町を創る

型から、とびだした障害福祉
町に溶け込む第2の我が家

特定非営利活動法人合
田井寿美江

自己紹介

東京都江東区生まれ 父親の転勤が多く都内団地を転々とする。

埼玉県草加市に引っ越す 小学校3年から

杉戸農業高校入学 酪農に魅力を感じる。

八ヶ岳中央実践大学 酪農科

卒業後 北海道名寄市 酪農家に住み込み

北海道釧路市 酪農家に嫁ぐ 家族経営 子供3人(2女 1男)

埼玉県さいたま市岩槻区の実家戻る 離婚

老人ホーム正職員の傍ら秘密で、他トリプルワーク

(レストラン皿洗い 新聞配達 ケアサービス合)

特定非営利活動法人合 職員勤務

特性

子供のころからウルトラマン 仮面ライダーが好き 男の子と遊ぶのが好き

小学校1年生の時 飼った犬から動物飼育が楽しくなる。ムツゴロウ王国にあこがれる

人が苦手、友達が少ない のどかなところが好き 牛好き

かなりの変わり者かもしれない 今でも人と話をするときは緊張します。

障害福祉に携わったきっかけ

牛と自然が大大大好きな 農家のお嫁さんだった自分

自分の一生の仕事はこれしかない
大自然で、家族と 牛と共に暮らす

だったはずが
なぜ？



突然の出来事

長男の発達に遅れがあるかも？

なんか変だなと感じることが多かった

小学校入学と同時に、様々な出来事が...

集団行動が
できない

色のこだわり
がある

ビデオの画像で同じ場
面を何回も見ている



教室をそっと
抜け出す

友達と喧嘩が
絶えない

学校の先生に
反抗する

暴力的

発達外来のある小児科受診

発達に遅れがあることがわかる。

広汎性発達障害 学習障害

障害？ この子これからどうなるの

絶望観 悲観 罪悪感

家族が理解をしてくれない

家族は、
なぜ、
わかってく
れないの
だろう

自分ばかりと
負の連鎖の始まり

この子の将来
どうなるの

自分が悪い

きょうだいも、
もしかしたら障
害があるか
も??



自分も、あるべき姿を求めていた

良い親

理想の
生活

子どものしつけ
はこうあるべき

良い嫁

理想の家族はこう
あるべき

理想の旦那
こうあるべき



私が息子の障害を受け入れられたのは

- ・親の会 同じ境遇の親御さんと話すことで自分だけではない
安心感の共有
- ・息子が通う小学校での、親同士のつながり
⇒子供の困ったことを共有し合えるつながり
- ・学校の先生の理解 ⇒ 先生との連絡ノート
子供の少しの成長がダイレクトに知れる

子供の少しずつの成長をきっかけに

スペシャルではない、地味な日々のかかわりの中で

人のつながり⇒ 自分自身の価値観さえも変わる

他人に頼ること⇒ 一人では解決できなくても仲間がいたら乗り越えられる

自分自身が、子供に育ててもらっていることに気づく

知らないから、理解できなかった不安

知れたことで不安が、希望になった

理解してほしい人にわかってもらえない悲しさ淋しさ孤独感は

知っていたらもう少し違ったかも⇒家族への不満の解消

息子の個性として受け入れた ⇒ 素直で、面白いやつかも

人にはそれぞれの、価値観や生き方がある ⇒ 多様性へのきずき

人に支えられ、少しずつ前を向けた 安心感と安堵感

相互理解をすることで、助け合い 支え合い つながり合う

こんな自分だから、何かできるかも？

相変わらず、人は苦手です

だけど、つながるとたくさんの方々に支えられ、希望が見えてくる
小さな行動の積み重ねで、何かがかわるかも？



でも、人って
とっても素敵

特定非営利活動法人合の紹介

設立当初の合

H21.6.18 設立

- 越谷市東大沢2階建てアパートの1室2DK
- 障害福祉サービス 居宅介護サービス 移動支援
- 初代理事長 松實宏他職員3名からのスタート

設立当初の登録利用者 35名

- 障害児学童保育⇒ 放課後デイサービス
- 居宅介護 行動援護 移動支援 生活サポート
福祉有償運送 児童発達支援
- ⇒ 社会福祉法人天恵園へ移行 第2福祉事業
- 生活介護(20名定員 知的障害者)
- 短期入所事業 相談支援事業
- 東部地域療育センター(埼玉県委託事業)
- 重症児童発達支援 重症児放課後デイサービス
- グループホーム(定員5名)
- 重症者生活介護(定員20名 医療的ケア可)
- 福祉用具レンタル 販売

共に笑顔で生活しています



ご利用者さまとそのご家族が
心豊かに暮らすお手伝いをします

【連】 TEL : 048-978-6449



成人 約95名
児童 約118名

越谷市恩間新田 280-4 ☎048-971-9
生活介護・短期入所

重症児多機能型デイサービスあすなろ
越谷市恩間新田 280-1 ☎048-971-9
児童発達支援、放課後等デイサービス

越谷市大里 越谷市大里 729 ☎048-978-6449

本部事務所 ☎048-978-6449

Kids 合 ☎048-940-0645
児童発達支援、放課後等デイサービス、個別療育

ケアサービス合 ☎080-5697-6290
福祉用具レンタル、販売

障害者支援センター 合 ☎048-999-6015
一般・特定・障害児相談支援

Kids あいあい ☎048-940-1533
事業所内保育所

東部地域療育センター ☎048-978-6449
埼玉県委託事業 療育発達支援

サポートあかり ☎048-978-6449
生活サポート

【関連法人】

社会福祉法人 天恵園 越谷市大里 729 番地 1

本部事務所 ☎048-984-7000

居宅介護 居宅介護、重度訪問介護、介護予防訪問介護

生活サポート 移動支援、外出援助、一時預かり、介護人派遣

指定児障害者福祉サービス 行動援護、同行援護

福祉有償運送

Kids プチとまと ☎048-971-5052

児童発達支援、保育所等訪問支援

みつばち保育園 越谷市千間台 1-21-6 たいはく 千間台 108
企業主導型保育事業 ☎048-961-8680

Kids 花音 越谷市蒲生寿町 15-37 あさひやビル 1F
児童発達支援 ☎048-940-1225

越谷市南荻島

Kids 合南荻島

越谷市南荻島 3683-4 ☎048-940-2852
児童発達支援、放課後等デイサービス



特定非営利活動法人合

〒343-0031
埼玉県越谷市大里 729 番地 1

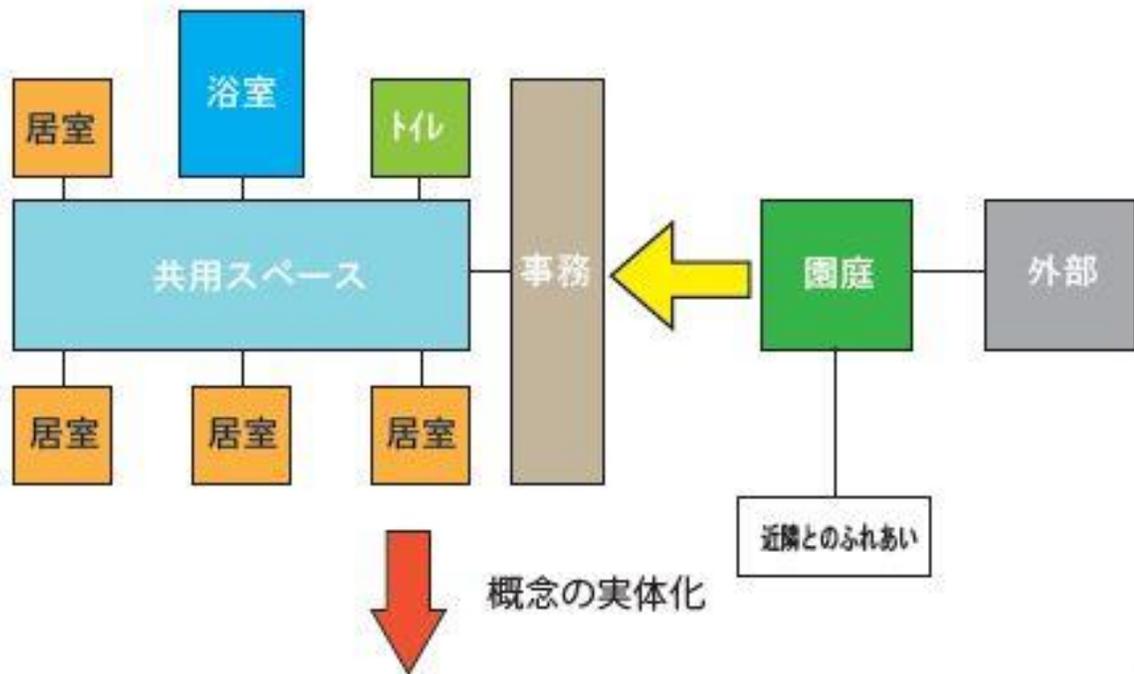
職員数 有資格者別一覽

法人職員数		有資格者別一覽	
常勤職員	47人	中学校教諭第一種	3人
		養護学校教諭	1人
		ハートサインダンス講師	1人
		相談支援専門員	7人
		介護福祉士	10人
		社会福祉士	7人
		社会福祉主事任用資格	7人
		保育士	15人
非常勤職員	93人	看護師	20人
		准看護師	3人
		作業療法士	3人
		言語聴覚士	2人
		臨床心理士	3人
		音楽療法士	2人
		合計	140人

これからの事業の方向性

障害者のグループホームの建設予定

イメージ図



障がいを持ったご利用者が成長と共に過ごせる施設の確立



グループホームとは

障害者グループホームは、障害者総合支援法で定められている障害者福祉サービスのひとつです。

グループホームの中には入居者の他に、食事・入浴・排泄などの準備やお手伝い、お金の管理等をサポートしてくれるスタッフや、日常生活を送る上での身の回りの介助サポートを行う生活支援員がいるところもあります。

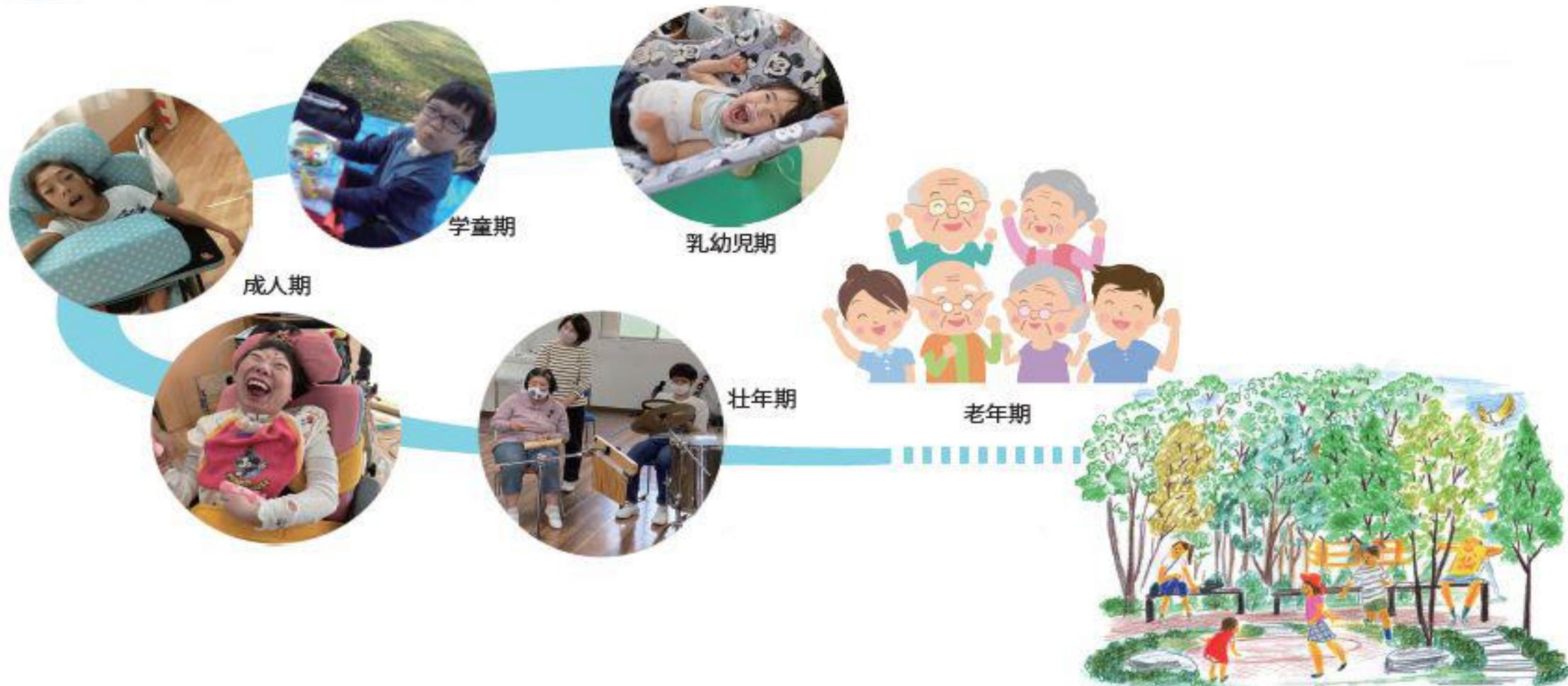
アパート、マンション、一戸建て、公営住宅など、拠点の形態はグループホームによって様々です。



仲間と暮らす楽しい我が家

町に溶け込む、親亡き後でも地域とつながる第2の我が家

日中支援型グループホームはなぜ必要なのか？



最初は 知らないことばかり

知らないから壁ができる

壁ができ、変化のない世界観から、型にはまっていく

型にはまっている間は課題が見えづらい

型からはみ出ると、問題になってしまう

型からとびだし、地域の人とつながろう！知ってもらおう！

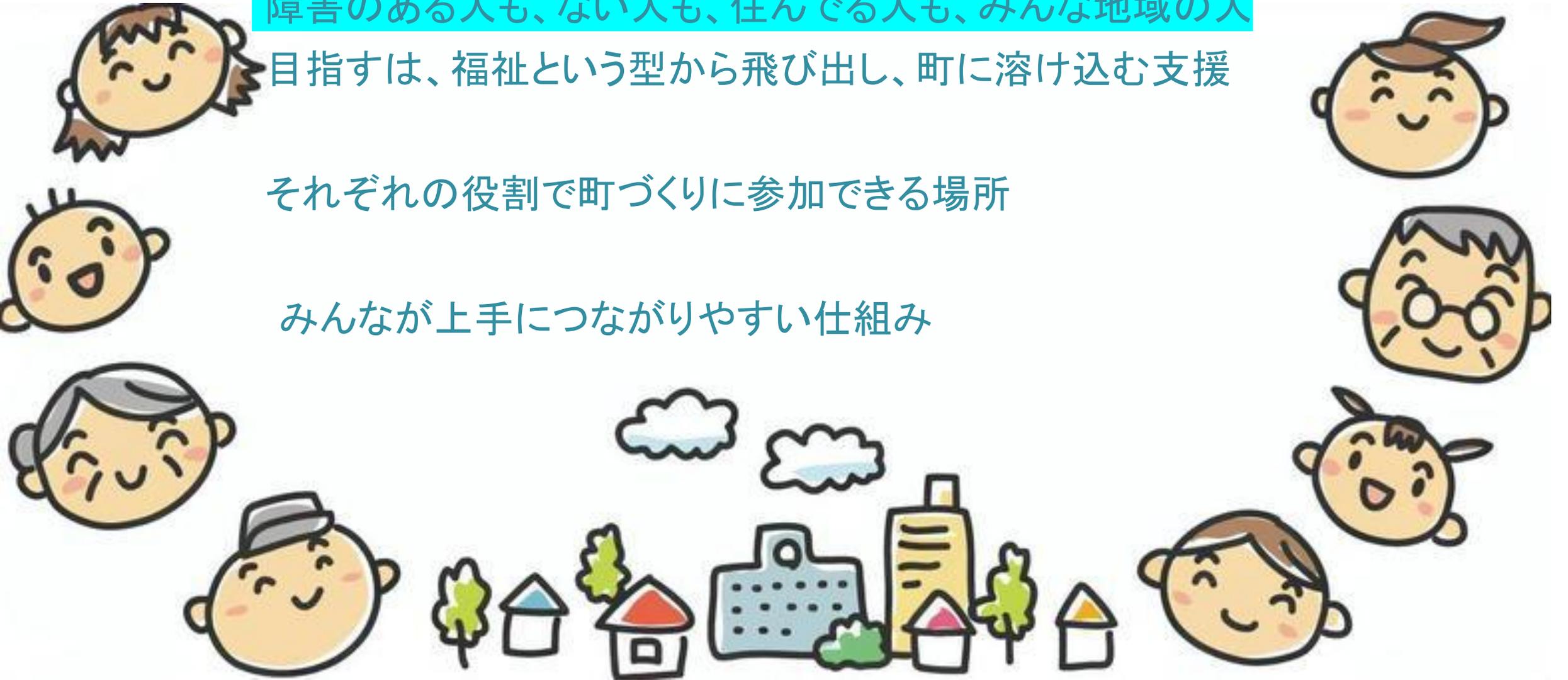


お互いを知るきっかけをつくりたい

障害のある人も、ない人も、住んでる人も、みんな地域の人
目指すは、福祉という型から飛び出し、町に溶け込む支援

それぞれの役割で町づくりに参加できる場所

みんなが上手につながりやすい仕組み



地域の中で知ってもらおう つながるきっかけが必要

知らないから不安、日常の中で上手にかかわる仕組みを作る

顔の見える関係性 いつでも立ち寄れる場所

井戸端会議 みんなで集う

雇用の促進 働く場の提供

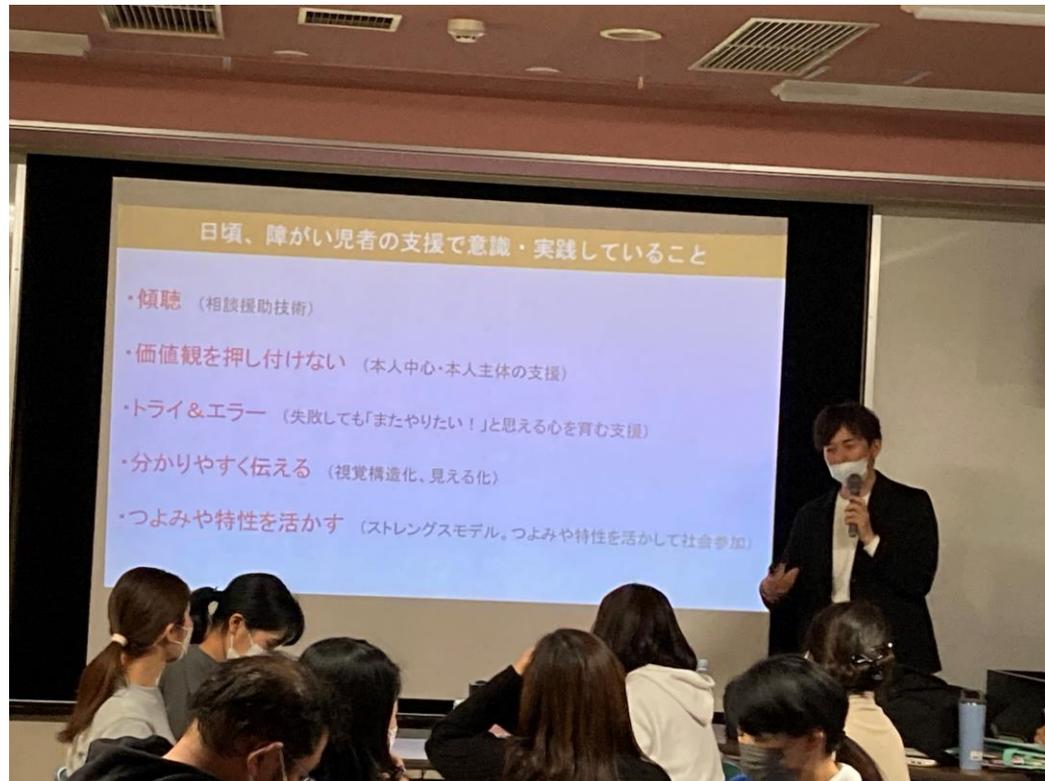
買い物に行く 地域の活性化

子供たちの遊び場

地元の学生の実習の受け入れ

地域の中で暮らす つながる 支え合う 助け合う

私たちも学ぶ





知ってもらおう

お出かけ



季節を感じる



地域活動に参加する

ななサポ祭りで、ハートサインダンスを披露しました





じゅげむ子供食堂

2022年10月30日



主催：特定非営利活動法人じゅげむ
共催：特定非営利活動法人 台
協賛：TIJOP ZOO / ジオラマ



志

私の手は小さいけれど…

☆ 少なからお手伝いできる

私の心は狭いけれど…

☆ 少なから聞いてあげられる

私の夢はすくないけれど…

☆ 一つならあなたの夢を語れる

一人では何もできないけれど…

☆ 多くの方が助けてくれるので歩いて行ける

一分一秒は短いけれど…

☆ 積み重ねれば歴史ができる

こころの声を聴き

私たちは一人でも多くの人に夢と希望を届けたい

I(私)からWe(私たち)へ

合

私たちも、地域みなさんに
育てていただいています。

つながり合う 支え合う、助け合う

型から飛び出す福祉へ
町に溶け込む福祉へ



ご清聴ありがとうございました。